

樹の本



健康で心ゆたかな子 深く考えくふうして学ぶ子 進んではたらく子

1月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/>

教育調査のご報告

校長 守田 聡美

新年明けましておめでとうございます。「令和」最初の新年を迎えました。教育においても、次代を生きる子供たちの育成を目指し、4月から新しい学習指導要領が完全実施となります。引き続き本年も、さらなるご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

さて、昨年末に実施いたしました教育調査についてご報告いたします。(中ページ参照)。今回、保護者の方々からの回答率が92.7%になりました。大変多くの保護者の方々にご意見をお寄せいただきましたこと心より感謝申し上げます。

【成果】

保護者による評価では、1(学校経営)「子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。」は87.6%でした。昨年度と比較し肯定率が伸びた項目は、7(学習指導)「学校は、ICT機器を活用した授業を行っている。」88.6%、11(地域と共に在る学校)「学校は、家庭と地域と連携・協力して教育活動を行っている。」84.0%、14(防災)「子どもは、学校での生活を通して、地震や火災など、様々な危険を予測し、回避する力が育まれている。」78.1%でした。

児童による評価では、29(生活)「私は、学校へ来ることを楽しんでます。」91.4%は昨年度比14.9ポイント上昇しました。また、5(学習指導)「先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。」98.1%は最も肯定率の高い数値でした。20(学習)「総合的な学習の時間の授業では、地域の課題を見つけ、自分たちで解決できる活動に取り組んでいる。」90.5%は、昨年度比18.0ポイント上昇し、今回の調査で最も大きく改善されました。

学校生活の満足度は、安心・安全な学級経営と学習指導の充実の両輪です。今回の調査では「学校が楽しい」と感じる児童が大きく増加しました。最も嬉しいことでした。100%を目指します。また、ICTを活用した授業について、子供たちだけでなく保護者の方々にも高い評価をいただきました。授業研究とICTスキルアップ研修に日夜取り組んでいる教職員にとって、大変大きな励みとなりました。

今年度より、すぎなみ環境ネットワーク(NPO法人)の方々のご協力を得て、子供たちが自ら課題を設定し、自分たちで解決できる活動に取り組む等、総合的な学習の時間の充実に努めております。生活科の学習では、子供たちが、お手玉、こま回し、けん玉、あやとり、折り紙を地域の方々から教わったり、一緒に遊んでいたたりしました。また、体験型安全教育支援機構(NPO法人)の清永奈穂先生による防災教育の授業を実施する等、学校支援本部と協働し、地域の方々や外部専門機関と連携した授業を実施してきたことが評価につながったものと考えます。さらに充実させて参ります。

【課題】

保護者による評価では、10(特別支援教育)「学校は、子供たちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。」43.3%、12(特別支援教育)「障害など、参加に困難を抱えている子どもたちも、みんなと一緒に活動できる配慮や工夫をしている」40.2%、13(生活指導)「いじめや不登校に対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。」46.7%と、昨年度と同様に、いずれも低い評価でした。

このことから、特別支援教育、いじめや不登校といった課題に対して明確な改善策を示し、全ての子どもにとって、より安心・安全な人間関係を築けるよう、一層の努力が必要です。

現在、特別支援教育については、支援の必要な子供たち一人一人に対して個別的教育支援計画や指導計画を保護者と相談して作成し、校内委員会で検討したり、全教職員で情報を共有したり、専門家を招いて適切な支援の方法を研修したり、専門機関と連携しながら指導にあたっております。いじめや不登校については、「いじめアンケート」の他にQ・U調査(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)を実施し、客観的なデータでいじめや不登校の早期発見、早期対応に努めております。また、高学年の全ての児童が一人ずつスクールカウンセラーと面談する機会を設け、児童が安心して悩みを相談できるようにしています。児童による評価では、10(生活指導)「友達や先生、家族のことなどで悩んだとき、学校に、相談できる大人(先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、地域の人など)がいる。」85.7%は、昨年度比14.1ポイント上昇しました。

特別支援教育、いじめや不登校については、授業研究と同様に、全教職員が全力で対応に努めておりますが、学校だけでは、十分に対応できていない現状を踏まえ、よりよく改善する方法を学校運営協議会の中で話し合い、保護者の方々のご意見も伺いながら、進めて参ります。

3月の学校だよりでは、これらを踏まえ、次年度の取組みについてお知らせいたします。今回初めて、地域と共に在る学校の項目が、児童、保護者、教員の3者で、前回は上回りました。また、児童の調査では、全ての項目において、1.3~18.0ポイントの上昇がみられました。こうした子供たちの成長は、学校だけでは実現できません。保護者、地域の方々が共に子供たちを育んでくださったからです。

これからも保護者、地域、学校が、ONE TEAMとなり子供たちを共に育みましょう。今年もよろしくお願いいたします。